

環境保全型農業栽培面積 3, 532ha

- 環境保全型農業とは、農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業をさす。
- 平成 25 年 3 月末時点の環境保全型農業栽培面積は、3, 532ha で、耕地面積の 5.0%となっている。

●環境保全型農業栽培面積の推移

年度末	面積
H17	2, 170ha
H18	2, 598ha
H19	3, 049ha
H20	3, 482ha
H21	3, 636ha
H22	3, 283ha
H23	3, 577ha
H24	3, 532ha

●＜参考＞エコファーマー認定件数・面積の推移

年度末	認定件数	取組面積
H17	2, 076	1, 630ha
H18	2, 388	2, 026ha
H19	2, 446	2, 225ha
H20	2, 284	2, 585ha
H21	2, 119	2, 716ha
H22	2, 292	2, 628ha
H23	2, 637	2, 980ha
H24	2, 609	2, 942ha

【環境保全型農業栽培面積】

エコファーマー、特別栽培農産物等、有機農業などの各栽培面積の合計値

出典：静岡県農山村共生課調べ